

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	戦没者追悼事業(備前)		コード	担当課係	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-01	担当者	田中淳一
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	内線183	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	障害者(児)福祉			
	施策	交流の推進と組織づくり			

事業について	
目的	戦没者及び遺族に対し、慰霊の意を表すため戦没者追悼式を実施する。 戦没者遺族会、傷痍軍人会、原爆被爆者会に対して会の運営助成を行う。
対象 (誰のために)	市内の戦没者遺族、傷痍軍人並びに原爆被爆者
内容	戦没者追悼式の実施及び補助金の交付

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
戦没者追悼式費用	2,100,000	円		
遺族会補助金	144,000	円		
傷痍軍人会補助金	90,000	円		
原爆被爆者会補助金	45,000	円		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,379	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,375	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	5,754	一般財源等	5,754	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.41	人		人
結果指標名	追悼式参加者数			
結果指標量	220			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	3,788,000	円		円
単位当たりコスト①	17,218	円		円

結果指標名	追悼式参加者数/案内状発送数			
結果指標量	0			
単位	—			
対前年比	—			
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	追悼式参加率	式又は説明	追悼式参加者数/案内状発送数
成果指標量	17年度		
	0		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	30%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	戦没者追悼式については、内容の見直しを行い経費削減を行っている。また、補助金についても、各団体の活動状況を勘察し、適正な補助を行っている。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	250人	結果指標量②	
目標値	結果指標量	23%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	戦没者追悼式の3箇所での開催を1箇所で行う。	21年度	コスト削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

戦没者遺族、傷痍軍人及び原爆被爆者を対象とした事業であり、目的、内容は妥当である。

追悼式については、現在3箇所で開催しているが、将来的には1箇所での開催ができるよう検討している。

事業の必要性は感じるが、年々該当者及び参加者が減少傾向にある。